



吉平酒店

信州
朝日村

だより

YOSHIHIRA SAKETEN

Open 10:00 ~ Close 19:00 2020.11

紅葉も見頃を過ぎ、日増しに寒さを感じる11月になりました。わが家の暖房器具のメインは薪ストーブ。あのじんわりとした家全体が暖まる感じが何ともいえぬ最高なのですが、スイッチ「ピ」で暖かいわけではないのが大変なところ。薪を外から運んできて小枝などと一緒に薪を組み、新聞に火をつけます。昔は苦戦しましたが、今では一発で火をつけられることが多くなりました。冬場はおでんを煮たり、洗濯物を乾かしたりと大活躍の薪ストーブ。あの暖かさを求め、今年もせっせと火を起こそうと思います。

さて、吉平酒店はおかげ様で創業4周年を迎えることができました。日頃からの皆様のご愛顧に深く感謝いたします。特に今年は新型コロナウイルスに振り回される事が多かったと思います。4月のメーカーズセミナーの中止に始まり、5月の店舎南試飲会の取り止めなど、イベントが全てなくなりました。外出の自粛、飲食店の営業自粛。街から人が消えました。こんな状況でワイン飲む！なんて呼びかけて良いものかと考えた事もあったが、店舗に来店して下さるお客様、配送でご注文して下さるお客様、沢山の声に励まされ、声をかけて頂き、4周年の11月まで来る事ができました。皆様本当にありがとうございます。最近では、少しずつですが感染対策をしっかりとした上で、イベントも出来るようになりました。開催してみようと思うのは、皆様楽しんでワインを飲んでいる姿を見るのは嬉しい！という事です。Withコロナの生活の中で、吉平酒店が思う楽しい！をあきらめず提案し続けていこうと思います。5年目も店主・ソムリエ共々皆様の御期待に添えまよう一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

ついに！吉平酒店プライベートブランドワインが **11月11日** に発売となります



販売価格 ★ 税込 ¥3,300 ★

吉平酒店の(店主・ソムリエの親としての) 思いがぎゅっとつまった本となりました。家族と友人と大切な人と飲んで頂きたいワインです。お楽しみに！



裏面ではソムリエがMINORIワインについて語っております！

吉平酒店よもやま話

先月号から色々とお話してきましたが、いよいよ今月、初めて PB(プライベートブランド)のワインがリリースされます。販売が始まる 2020 年は当店の 5 年目がスタートとなる年であり、生産年の 2019 年は私たち夫婦にとっては、かわいい娘が生まれた特別な年でもあります。

・オリジナルラベルについて

初めての PB なのでラベルはどうしようかと考えていたのですが、イラストレーターの山本香織(やまもと かおり)さんをお願いする事にしました。右側の画像を見ていただいてこのテイスト見た事ある！という方もいらっしゃるかと思います。それもそのはず！カンティーナ・リエゾーのラベル、アルプスシティ・コーヒー、松本マフィン、リケン のドレッシングのパッケージなどを描いている方なのです！！



山本香織さんをお願いした理由としては、単純にイラストのテイストが可愛いからというのも勿論ありますが、他にも理由があります。今回ワイン自体をカンティーナ・リエゾーさんで造っていただけるという事で、「カンティーナ・リエゾー＝山本香織さんのイラスト！」というのが世間認知されている中で、PB でも生産者の顔が見える様にしたかったからです。ただ、せっかくの PB ワインなので裏ラベルに吉平家族も登場してみました！ちなみに銘柄のサブタイトル的に付けた la mia cara figlia(ラミアカラフィーリア)は「私たちの可愛い娘」という意味があります。



・その出来栄とは…

カンティーナ・リエゾーさんから「瓶詰め前にワインの出来栄を確認して欲しい」との連絡を頂き、普段は極力情報を入れずにテイスティングするのですが、今回はブドウ品種のみ分かっている状態でテイスティングをさせていただきました。

バレルテイスティングをする機会は数回しか無いのですが、樽からグラスに入れて頂いた時にまず思ったのは、新樽なのにバニラの香りがあまり無い…というか現状で果実やスパイスが香り高く美味しそう！というものでした。口に含むと柔らかい口当たりと共に若々しいながらジューシーな果実味とタンニン(渋み)があります。「若いワイン＝渋い」というイメージもありますが、余韻にかけてのフレッシュな酸がワインに軽やかさと熟成の可能性を与えています。

造った本人は何も言いませんが、その他の当店夫婦、湯本さんの奥様は揃って今から美味しいとその出来栄に驚いています。



・価格について

当然と言えば当然なのですがワインの値段をつけるというのは初めての経験だったので、普段の仕事の様な品物の値踏みをするのとも違い結構悩みました。PB(プライベートブランド)で…、この生産者のワインで…、収穫もさせてもらって思い入れもあって…、この品質で…、でも沢山の方に楽しんでいただきたいし…と色々考えた結果、リリース直後は「本当にこの値段で良いの?」、熟成を経た時に「あの時に買って良かった!」とお得感を感じていただける価格かと思えます。是非お買い求めくださいませ。

